令和７年度　第２回　中野市立図書館協議会会議録

開催日時　　令和７年８月 30 日（土）午後２時 00 分から午後３時 50 分
開催場所　　中野市立図書館　２階ＡＶホール
○出席者（委員８名）坂井正幸委員(協議会長)、西澤みつ委員、牧野一雄委員、西原芳子委員、寺島正友委員、松本則夫委員、小池市子委員、小林則政委員

○欠席委員（委員２名）　千野美奈委員、三井早織委員
（事務局　教育委員会図書館）　小林館長、町田副館長、北原副主幹
(説明員 文化スポーツ振興課　荒井課長、高木課長補佐)

◉資料　・次第資料、次第、１ページ～5 ページ(図書館作成)
・資料１「(仮称)中野市美術館建設基本計画(案)」(文化スポーツ振興課作成)
・資料２「(仮称)中野市美術館建設基本計画(案)補足資料」(　　〃　　)

会議内容

１　開　会（進行・事務局:図書館副館長）
・出席委員数が 10 名中８名参加、条例に定める過半数出席、会議の成立を伝える。

２　あいさつ
（図書館館長）
（協議会長）

３　会議事項（進行、協議会長）
(1)　中野市立図書館におけるオアシス公園の利用状況及び現状について（※次第資料Ｐ3 を事務局の図書館副館長説明）
(委員)会長さんのあいさつでもあった８月７日の信毎と８日の北信ローカルの報道の後、定例会があり、そこに集まった会員さんが、美術館建設計画の話題になり、会の皆さんの意見としては、この図書館ができて 32 年が経過して、32 年前にこの図書館を造ったときに図書館の建物だけでなく、周りの植栽の配置のことまで考えて造られている。また、今はやめられてしまったが図書館花の会の皆さんがボランティアで庭の手入れをしてくださって、やっとこれだけの環境が整ったと思っています。
私たちの会も、こどもとしょかんまつりや図書館まつりなどにも毎回参加させていただき、オアシス公園が屋外ステージとしてとてもいい場所になっているということで、そこがなくなってしまうということは、とても残念だなということを会の皆さんがおっしゃっていて、協議会があるということでそこで伝えて欲しいということを言われました。
図書館がこの場所にできて 32 年が経過し、会としてその間に何人か外部講師の方が来られて、その外部講師の方からお話を聞く機会があり、「これだけの緑に囲まれた環境の図書館はめったにない。図書館の 1 階で座ると外に緑が見える環境は素晴らしい

ですね。」と何人かの講師から言われました。

図書館は建物だけではなくて、周りの環境全部で、図書館の中で本を読んで疲れた気持ちをオアシス公園に出て癒してまた中に入ってくるとか、また、オアシス公園があることから子供たちがそこで遊びながら、図書館の中にも入ってみようという気持ちになったりということで、前庭のオアシス公園と図書館が一体となっているのではないかということを皆さんおっしゃっていらっしゃいました。そのことを伝えてと言われましたので、発言させていただきました。

(2) (仮称)中野市美術館建設基本計画(案)について

※くらしと文化部文化スポーツ振興課　荒井課長(以下、荒井課長)

・資料1「(仮称)中野市美術館建設基本計画(案)」

・資料2「(仮称)中野市美術館建設基本計画(案)補足資料」により説明

(質疑応答)

(委員)美術館の設置については、何の法律によって設置するんですか。

(荒井課長)博物館法です。

(委員)中野市には博物館協議会というものがありますが、博物館協議会には諮られたのですか。端的に申し上げますと、今日お集りの図書館協議会の皆さんは、たまたまこの計画が図書館の敷地の中ということなので、図書館の利用にどんな影響があるかについて申し上げることだと思いますが、美術館建設についてはどんな美術館にするとか、昨日の北信ローカル紙にも載っていましたが、美術館は必要だということは、みなさん合意はされていることだと思いますけれど、何で図書館なんだという説明がない。それで、決定事項なんだ。話を聞くと今年の1月に手上げをして3月にはお金が決定しているという話も何となく聞こえてくる。市民とか、議員への相談とかがないままに、今日図書館協議会への説明ということですので、私から申し上げるとすると、今日もそうですけど駐車場が非常に狭隘で狭くて、図書館としても非常に困っている。図書館まつりでも、運送会社さんの駐車場もお借りしており、ロゼヒーローショーなどのイベントの際は子供さんが大勢来られて、駐車場が不足している状況だったり、図書館の文学講座等の自主事業の際も駐車場が不足している状況で、代替えの土地があるかというと、平日については公民館、市役所、市民会館等については停めるわけにはいかないので、駐車場がない。

木の伐採ですけれど、ホームページで基本計画を見ましたけど、南よりの場所であれば桜 10 本ぐらい、切らなくてはいけない気がします。新聞で知ったんですけど、このエリアは昔古銭、お金が出てきている場所で、文化財、古墳の発掘によってそのようなものが出てきている場所で、建物を建てる場合は試掘調査などしなくてはいけないということが考えられる。端的に言って90数か所も建設候補地があった中で、なんで図書館なんだということが分からない。

例えば一本木公園の旧中野小学校西校舎は銅石版画ミュージアムで、私 2 年ぐらい前にお借りしたことがありますけど、すごくいい建物ですが、2階はほとんど使われていない。市指定の有形文化財で文化庁は使いながら後世に残しましょうと言っており、こういった建物に手を入れて、ピクチャーレールなどもありますのでこういったところ、あるいは県庁陣屋記念館の 2 階に馬具がありますが、残念ながら見に

来られる方がいらっしゃらなくて、普段は電気もついていない。馬具についてはどこかに保存して、まち中でもありますので、2階のスペースを利用してれば候補の一つになりますよね。

一番危惧するのは、保管庫がない。リース品は入れ替えして一度見てまた見に行きたいなというのが美術館の魅力ですよね。保管庫のない美術館というのは、絵の学芸員の方に伺ったのですが、美術品が傷んでしまって美術館としての機能を有さない建物になってしまうということを、この会があるということで勉強させてもらった。

久石譲さん、牧選手、宮島さんもとてもいいのですが、その辺は文化スポーツということの中でやっていくこと、やはり美術館として昨日のローカル紙に清水正さんも書かれている、絵画、彫刻いろいろな専門的に学芸員を配置して展示してからとすると、どうも美術館ぽくない何か観光的な集まって見てもらって帰られる。それで2度目に来るかというとそこはまた難しいところで、作品の入れ替えをしながらいい美術館だねという形で、この環境のような木々に囲まれていい美術館だなと言われるような美術館を造って欲しいというのが昨日の清水正さんの記事で、清水正さんの息子さんはフルートで活躍され、娘さんは陶芸家でいらして美術館で個展等されています。中野市で芸術をやっていらっしゃる方が展示したくなり、過去に寄贈されたものをそこで入れ替えをしながら、そういった機能を持った美術館を希望しているんだなと昨日の清水さんの記事を読んで感じました。保管庫がないというのは、今回の計画では面積が約130坪にしても、美術館として備えるものは、博物館協議会ではないですけれど、どういった美術館を造りたいんだということは学識経験者、芸術関係者に聞いて、いい美術館を中野市に建設してほしいと私は思います。

(荒井課長)いろいろな話をいただきました。初めに博物館協議会、そういったところには話はしていませんが、必要が出てくればそういった機会を設けたいと思っています。美術館については博物館法の中では様々な分類に分かれておりまして、県立博物館のように大きな博物館については第何類、それぞれの規模によって分類が違うということですけど、今私どもで計画している美術館については規模的にも約130坪程度の規模で、ミニ美術館という表現から観光面も含めて誰もが訪れやすい、美術に興味のない方も、図書館を利用された際に立ち寄っていただけるようなイメージの美術館で考えています。

収蔵の関係ですれけど、この面積ですと大きな収蔵庫は造れないわけですが、一本木公園の収蔵庫をいろいろ整備したりして使っていますが、今後も有効に活用していければと考えています。

木の伐採については、みなさんから自然を壊さないでという要望が多い中、全く手を入れないということは言えないのですけれど、支障になる枝なども考えられますし、老朽化して倒れたりして危険が生ずる木があるかもしれませんので、調査したうえで支障になるところは、若干手入れさせていただき、今ある自然は残した中で考えています。

埋蔵文化財の包蔵地ということは承知しておりまして、今後建設を進めていく中で試掘調査、発掘調査の必要が出てくれば県のご指導をいただく中で、それに基づき対応していくことも承知したうえで計画しているところです。

(委員)学芸員に聞きましたけど、やらなくてはいけないでしょうねと言っているわけだ　か

ら、これから相談というよりもやらなくてはいけない。

先ほど委員さんが言われましたけれど、図書館は建物が建っているところだけじゃなくて、公園も含めた中で計画されたものだと、私も知らなかったが近隣の学芸員さんに聞いたのですけれど、この植栽は小布施のさつき苑さんが行った。さつき苑さんはいろいろ修行されてバリバリやっていらっしゃるけれど、建設当時木や石の位置など計算されてこの公園ができている。山ノ内の方から聞いたんですけれど、「何であの立派な図書館の敷地の中に美術館を造って木を伐採して環境を壊してしまうの。」ということを言われました。山ノ内や小布施の方もそんなことを言っていらっしゃるんだな、中野市の大きな財産がなくなってしまうのはもったいないという話を聞いているのですけれど、5月の鯉のぼりが上がっている時は子供たちがこいのぼりに触ったり走ったりしていますし、お年寄りも日陰で休んだり。中高生も外でしゃべったり本を読んだりしているのを見ると、市長さんがこどもど真ん中という政策で、やっていらっしゃる中、図書館で子どもとお母さんが遊んだり、絵本の読み聞かせをしている環境を壊してしまうというのは非常にまずいのではないか。なぜ図書館なのか、90 何カ所の候補地場所がなぜダメなのか。その辺を市長さんが図書館が決定事項であるといわれるのであれば、その辺の理由をはっきり説明する中で、しっかり市民にも説明をしないと、市民の方は、納得されないのではないかと私は思います。

(荒井課長)図書館の植栽の歴史とかその点については承知していたわけではありませんが、そういった歴史があり、思い入れがあるものだと思いますが、先ほどから説明しておりますが、自然をすべて壊すということではなくて、オアシス公園の一部に建設させていただきたいということで進めています。今言われる通り、いろいろな想いの方いらっしゃると思いますけども、そういったお話が出ておるということと、そういった歴史背景があるということを持ち帰って、理事者にも話をしたいと思っていますのでよろしくお願いします。

(委員)質問等兼ねながら確認させていただければと思います。今日は説明会ですので、意見は述べませんが、要望はしたいと思います。まず図書館の方にお聞きしたいのですが、年間の入館者数が11万人利用していて、中野市の図書館頑張っておられるなって私自身は思っています。その中で、駐車場の問題とか、広場の問題とかあると思うのですが、現実的にできたらどうなるかというようなことをどんなふうに想定されているのか。ここにもし、この計画通りにできた場合に、図書館の利用はどうなるのかなと。要するにニーズがあるわけなんですけど、職員の方も頑張っておられると思うんですけれどもね。それが何かこう阻害されるっていう面は、起きないのかどうか。もしそうなった場合に、じゃあ、どんなふうに対応できるのかと。駐車場の問題が一番大きいと思うんですけど。先ほど交通網の関係で、駅が近いということで、確かに駅も近く、バスもあるんですが、おそらく調べてみると、バスとか、電車を利用して図書館に来るって人はね、あまり、いないと思うんですよ。図書館がこんなに頑張っておられて、果たしてそれをうまく継続できるものかどうか、これは私たち一応図書館協議会の人間ですので、そのことを一番心配しています。それが図書館の人、館長に聞きたいことの1つです。

それから、この資料の関係でね、いろいろ話あるわけですが、絵画の関係は文化

財と考えていいと思うのですけれども、私は文化財保護の立場から改めて考えますと保護しなきゃいけないと、保護っていうのは皆さん時々勘違いするんですが、保管庫にしまっておけばいいという考え方もないこともないんですけれども、文化財は人に見てもらったり活用しなければ、文化財としての意味がない。清水正先生も似たようなことに、最後に宝の持ち腐れなってしまうと書いてあったのですけどね。一般的にそれでいいですよ。私は、皆さんに見もらわなければ宝にもならないわけで、やはり活用しなければということです。

やはり、公開しながら議論して、そして条件を整備しながら煮詰めていくっていう過程が見えるようにしなければならないっていうことを多分、言っているんだと思うんですけど。と同時に、物事を進めるには、最終決断をずるずる延ばすことはできないもんで、一定のところで判断しなきゃならない。これもわかるんですよね。

ですので、やはりこの調整っていう、まさに調整だと思います。やっていただきたかったなっていうのもありますが。

私の疑問は資料の中で、整備規模のコンセプトのところなんです。これがどこの場所とは言いませんけど、こういう展示スペース、エントランス、カフェ等はとてもいいなと思い、今日の資料見させていただきましたが、ただ、本当にさっきの保管スペースも関係するんですが、このコンパクトの 450 ㎡でそんなものができるのかといっていうことが大きな疑問です。ですので、具体的にもう少し、こうすればできるということが分かれば教えていただきたいと思います。それから、アクセスのよい場所であるということについては、確かにわかるのですが、本当にそんなに電車を利用して来るんですかということ、言葉としては正しいけど実際どうなのか疑問があるということです。

また、先ほどの樹木の関係で、子供たちが遊んでいて本当にいいなと私も思いましたが、でも図書館として考えれば、必要条件ではないと、十分条件だなと思いました。駐車場の方が必要条件だと思っています。この図書館を作るときに亡くなられた芳川先生が、すごく関わっておられてたんです。いろんなことを教えてもらうために芳川先生にお伺いしたときに、図面を出してこられて、新しい図書館を造るんだけどと言って、樹木のことも考えて、いろいろお願いしているって言ってその図案を出して、今はパソコン使えるようになったから、配置とかそういうのもみんな計画的に考えたってことがわかったわけです。すごいなあと思って、今もすごいなと思っているのですが。ただ先ほど木の伐採についてちょっと話出ましたが、私は木は伐採しなきゃいけないって考えています。木を伐採しなきゃいけないっていうのは、ただむげに伐採しよという意味じゃなくてね。明治神宮は、100 年後の森の姿を想定して、そして樹木を植え変えたんですよね。もう 100 年過ぎていますから、樹木のあり方を考え直さなきゃいけないんですよ。また山陰にある足立美術館も景観ということをすごく考えている美術館で、やはりここも景観が必要なんですよ。先ほど窓から見える植栽の配置という話しがありましたが、木は植えかえないと、ある一定のところでこうやってやらないと、そのままにしておくのではだめだ。ということを、足立美術館は証明し、かつその明治神宮を造るときに、100 年、120 年前かな。100 年後の姿のためにどうするかってことを想定し、たぶん芳川先生もそういうことを考えて、業者の方に、お願いしたんだなと思うんですよ。ですからその

樹木は、やはりある程度こう、もうちょっとこう考え直して、そういう配置とかそういうのもしなければ、いけないかなと思ってます。

ただし、美術館の建設がここでなければいけないっていう理由がね、なぜ図書館なのかということを、ほかの人もきっとそう思うんじゃないかな、一本木公園でもいいのではないかなんて思ったりするんじゃないかな。何か理由があって、ここは造ることできないんだよってことになれば、そうかとなるんですけどね。そこら辺が、やはり、一般市民に、わかるような説明というのはやはり、必要なんじゃないかなという。意見と質問。みんなごちゃごちゃしてしまいしたがお願いします。

(図書館館長)図書館に対するご質問についてお答えをさせていただきますが、次第資料の3ページで説明させていただとおり、年度の初めには鯉のぼりの設置、また、こどもとしょかんまつり、再来月には図書館まつりを開催しています。これ以外にも、図書館に入らなくてもオアシス公園のみを利用している方も大勢いらっしゃいます。文化スポーツ振興課の説明ですと10月以降に設計を発注するということで、実際に建物の配置がどうなるのかわかりませんが、図書館、教育委員会としては、今まで開催しているイベントが開催できることや、公園を利用している人が大勢いますので、市長部局には配慮していただければと考えております。

もう1点駐車場に関してですが、館内で読み聞かせや講演会等の行事を開催する際や、時期とか時間帯によっても47台の駐車場が満車になることがあります。これで、美術館ができることになると美術館の利用者が増えるということになると思いますので、その点についても配慮していただきたいと思っております。

(図書館副館長)図書館の利用者は個人で来ますので、自家用車がほとんどですが、美術館となると団体でバスを利用する方もいるのではないかと思われますので、その点の対応はどうするのか検討が必要かと思います。

(荒井課長)駐車場については心配しなければいけないと思っており、図書館の方と、ともに考えていかなければいけないと思っております。

お休みの日や、夏休み等は満車になる日が多くなることを図書館から聞いておりますので、今後どうしていけばいいのかということは、建設も含めて持ち帰って理事者にもさせていただきます。

広さが450㎡で足りるのかということについては資料2の3ページの美術館のイメージという写真があるのですが、具体的に言いますと埼玉県の川越にあるヤオコー美術館なんですが、市長もいろいろな美術館を見てこられたようで、このヤオコー美術館が450㎡で展示スペースがいくつかある中で、写真の下の方にあるラウンジですとか、ピアノも置いてミニコンサートもできるスペースが確保できて、このくらいの規模で何とか建設できるのではないかと考えています。

アクセスの面ですけれども、委員さんおっしゃるとおり、美術館に電車やバスで来る人がいるかいないかについては、わかりませんが、アクセスはいい場所だと思っております。交通面だけではなく近くに公共施設があったり病院、スーパーがあったりという説明をさせていただきましたが、人が集まってくる土地柄でもありますので、ちょっとここまで来たからついでに寄っていこうかなという気持ちになっておいでいただければなと思っております。

（委員） オアシス公園についてですが、私たちの会で集まった中に保育士さんもいらっしゃっ

た中で話があったのですが、公園を見ていただければわかるように一本木公園のように大きな遊具がない自然の傾斜を使って、子どもたちが飽きずに遊べる公園というのはまれな公園であるということをおっしゃっています。土地の配置によってそれが可能になったのではないかと思います。オアシス公園に遊具がなく遊べるのはそういうことまで含めて傾斜とか大きな石の配置を全部含めて図書館の公園なので、美術館建設でその一部が切り取られてしまうと、その公園自体が今までのように遊べなくなってしまいます。もし、美術館を造る場合でもその配置によってその空間が生きる配置と、全部だめになってしまう配置があると思うのですよ、やるからにはそういうことも考えてやっていただきたいと思います。

先ほど芳川先生のことで話がありましたが、この図書館ができる前に、県庁記念館の方に図書館があったときから私たちの会で、通わせていただいてたときに、芳川先生が図書館長をされていて、図書館を造るにあたって、中央から講師の方を呼ばれて、もう建物がなくなっちゃったんですけど県勤労者福祉センターで講演会をしたんですよ。図書館というものは、こういうものであるべきだっていうことを、中央の方が来て、お話をしてくださったときに、本当に芳川先生は全部のことを考えてやっているんだということで、一番印象に残ったのは、その講師の方が、県勤労者福祉センターに、この施設に手すりがない、階段に手すりが一つもない。こんな公共施設を誰が立てたんだ。ということをお聞ききしました。

もう30年以上も前の話なんですけど、もうその時代から、公共施設というものはこうあるべきだっていう意見を持ってる方の話を聞いて、結構大勢の方が勤労者福祉センターの 2 階に集まってその方のお話聞いたと思うんですけど、そういう皆さんの想いがあって、30 年以上たって今の図書館ができ上がっているっていうことを心に留めておいていただきたいと思います。

ちょっとのことで、せっかくの、でき上がった30年以上の歴史が傷んでしまうことないようにしていただきたいなっていうこと思います。

(荒井課長)今頂いたご意見はしっかりと吸い上げて、そのように設計していけるように努力していきたいと思っています。

(委員)感想なのですが、美術館のイメージはこの資料のとおりではないと思うのですが、大きさ的にこのぐらいとのことですが、この図書館の公園に美術館が建つというイメージがわきません。違和感を感じます。この資料のイメージを見たせいか無機質で、この図書館は暖かい場所なので、美術館のイメージがわかない。コンセプトの整備環境の中でミニコンサートホールのスペースがあるのですが、ソソラホールの小ホールがある中でどれだけミニコンサートホールが必要かという感想を受けました。どれほどコンサートの利用者が果たしてあるのか、また無料になるのか有料になるのかわかりませんが、どれほど美術館でコンサートをやる方がいらっしゃるのかなと疑問を感じました。

(荒井課長)このイメージは大きさをわかっていただければということで示したものです。

(委員)この公園に建つのかということをイメージした時に、桜を10本ほど切らなくてはいけないというお話があった中で、そのイメージがわかない。図書館と美術館が両立しているイメージがわかない。

(荒井課長)ミニコンサートですが、ホールという感覚ではないです。

(委員)この資料を見るとピアノが一台置いてあるくらいですが。

(荒井課長)あくまでもイメージで、ミニコンサートができるということで思っていただければと思います。

(委員)そうゆう場所が必要なのかなという感想を思いました。

(荒井課長)わかりました。

(委員)駐車場に関して先ほどから話が出ているようにとても大事なことだと思います。駐車場のあても付けて今後進めていくものだと思いますが、駐車場がどうなっていくのかなということで、すごく関心があります。資料1の3ページの6の事業費ですが、財源の2分の1は4200万円と4億5千万に両方かかってくるという意味ですか、あと90%はなんですか。

(荒井課長)2分の1は国からの交付金で、残りの部分の90%は起債で借り入れるということです。

(委員)今の説明で分かりましたけど、説明がないとわからない。この資料では一般の方に説明するにはどうなのかということを思いました。資料1の2ページの4整備計画の②で「過度の財政負担が生じないこと」は大事なことだと思いますが、建てる時は財源負担はないですけれど、建てたものを維持していくことも財源が生じるはずなので、大きなものを建てたときに10年20年30年後の財務計画を普通は立てると思うんですが、一般の会社では普通付けると思うのですが、そういった資料が付いていないので、今日は基本計画(案)なので、ここで建てる建てないことを決定するわけではないのですが、どけだけ建てた後の維持費がかかるか、年間コストがかかるのか、入場料はどうするのか、そういったことが自分の子供や孫世代に負担になるのか、疑問には思いました。

市の方でこのようなことを計画して進めていること関しては基本的には賛成です。

(荒井課長)ありがとうございます。

(委員)美術館は博物館法ということであれば、美術館として備えなければならないものがあるのではないか、イベント的なものでミニ美術館というのもわかるのですが、美術関係の学芸員だとか、兼務されるという話も聞きましたけど、菊池契月さんということであれば以前美術担当の学芸員さんもいましたけど、いま市立博物館に美術関係の学芸員さんがいるかわかりませんけれど、将来存続可能な美術館にしてほしいですし建てて終わりではないですから、やはり博物館協議会なり芸術をやっていらっしゃる皆さん方との話の中でよく検討されて進めて欲しいと思います。

文化庁では「美術館と美術館における公開の促進に関する法律」があるようですが、美術館は、博物館法第2条第1項に規定する博物館又は第29条に規定する博物館に相当する施設として指定され、開設し美術品の公開及び保管をするものと定義されている。音楽もありかもしれないですけど、基本は美術品の公開と保管なんですが、計画では保管がない。公開ということからいえば冷暖房完備の空調をされた中で保管をされた中で入れ替えていくという内容については、博物館協議会などでしっかりと話をしていただいて進めていただきたい。

(委員)中野市条例での博物館協議会では、今回の美術館建設については、協議対象外と承知している。

(委員)こういった大きな問題であるので、このような美術館のことも個人的には、博物館協議

会で話し合っていただきたいと思います。

(委員)私たちは図書館協議会に委員として出席させていただき、美術館について説明していただきましたけど、一般の方は新聞にせよ報道にせよ、いま中野市ってこんなふうになっているの、そこからスタートですよね。このままで行くのという疑問からスタートで、もう先ほどの説明では10月には設計業務委託発注になるということは、ある程度の固まったものがある、固まった物を私たちは見ることができたが、一般の方たちは見れない状態ですよね。一般の方にはわかりやすく説明して理解を深めていただいてと言われても、もう10月に発注が決まってきているということは、もうがっちり固められているということなので、それをとにかく言っても仕方がないとは思いますけれど、やはり30年以上かけてきたものと、これから建設するのであれば、丁寧に説明し、もう少し理解をしていただいてお願いしたいが、今から発注の部分を変えていただくことはできるのですか。

理解を深めてっていうことなので。その理解を一般の方にどれだけの、理解を求め100％はできないんですけれど。どれだけの方が関心を持って見ていかれるか。そこのところが、私にしてみれば、何か、いつも、造ります、案ができました、もう造ります、固まってます、もう変えられません。ただ、そこに、市民の方にはご理解いただけるように、丁寧に説明をします。丁寧に説明をして、予定通りやっていきます。でもその中身は、変わらないですよね。なかなか難しいですけど、それで造りました。ここで、将来的には指定管理者で管理運営を検討していますってもう出てますよね。本当に、箱モノを造ってコンパクトに造りました。そこに利用者がありましたって毎年出てくると思うんですけど、そこの中でまた利用者が少なくなりました、多くなりましたということが出てくると思うのですが、もう将来的にこのところで、指定管理の部分が、もう出てる。箱モノを造って、後は将来的には指定管理で検討しますでは、寂しいものがありますので、その辺のところを市民の声を吸い上げてもらいたいということで、変更はできないのか、10月はどうなのかなと思いました。

(荒井課長)この美術館計画については、決定事項だということは説明させて頂きました。変更ということは考えていないんですけど、決まったことについては丁寧に説明をしたり、ホームページで公開したり、広報にあげたりということは当然していかなければならないと考えております。指定管理については、将来的には考えていますということではありますが、とりあえずは直営で運営していく中で、今後の運営について検討していかなければいけないと思っています。指定管理者制度というのはすべてを丸投げするということではなく、指定管理を導入したとしても施設自体は市の建物でありますし、運営方法、管理の仕方については、市の考え方をしっかり組み入れた中で指定管理の方たちにやっていただく。全部任せたということにはならないのでご理解をお願いします。

(委員)図書館と一体的に管理していくという声が市民からで出ているので、ありきではないかないかということを言われたんで、直営して、指定管理にし、美術館なり図書館がなすべきことはどういうことなのかを大事にして、よく松本市長が記者会見で言っていますけれども、市民にしっかりと説明する。市民がああそうなんだなとわかってやっているのと、何かいつの間に決まっちゃってやるのでは、市民が行政に関心がなくなってしまう。美術館は決定事項ということであれば、市長さん自らが語ら

れて市民の皆さんもそれを聞いて考える必要があるのではないかと思いますので、持ち帰っていただいて市民の皆さんに説明するような場を設けていただいて進めていただきたい。

(協議会会長)図書館利用させていただいていているものとして、個人的な感想ですけれど検討不足だったのではないかなということ、450 ㎡の美術館はちょっと狭いのではないのかなと。帯に短し襷に長しということわざがありますが、資料の 2 ページ 3 ページで、3 ページを見ると現代美術で、2 ページを見ると古美術のようなものですけれど若い人が古いものを見にくるのかな、若い人は現代美術のようなものも入れていかないと見に来なくなってはしまうのではないかなと、そうすれば両方入れようとすると 450 ㎡ではちょっと狭い、それで将来的にどうしようかとするというと前の方に拡張しましょうという話になっていってしまうのではないかなと思うし、また、建物を造る中で将来 2 階を建てにしようとすると基礎も全部変えていかなければいけない、そういった構造の検討が入っているかどうか、入っていないんだとすると公園側にどんどんどんどん広がってしまう懸念がされるところです。また、駐車場という話がありましたけど、回遊性という話がありましたけど病院の近くに美術館があっても私は病院に行った後、美術館に行こうということは絶対しないと思います。このことは詭弁かなと思います。これだけ車社会になっていますので、ほとんどの人が車で移動しているということが現状と思います。やはり郊外の方がアクセスがよく利便性がいいんじゃないかなと思ってます。今小学校も中学校も統廃合が行われています。空いているところがあると思うんです。そうゆうところでやれば 4 億もかける必要がないんじゃないかなと思います。4 億というのは大変なお金だと思います。これがどこに転嫁されてくるかというと市税とかに転嫁されてくるわけです。いかに安くあげるかというところと、人口も減ってるところがありますので、公共施設の再利用がいいのかな、旧長丘小学校は今ハブリックということでやっていますけど利用者がすごくおり、車も停められるし、また無料だし、それほどお金をかけていないというところもそうですが、そういったことも一つあるのかなと思いますし、美術館の建設については、検討不足のまま走って、さあどうですかというのがぬぐえないのでぜひ持って帰っていただく中で、図書館協議会の中では厳しい意見をいただいたということで、最初からお願いしますということがあってもいいと思うんですよね。私も会社勤めしてますけども、ずっと下におりていく中で、厳しい意見があり、最初からやってそれがよかったね。という結果に結びつくこともよくあるんですよね。そういったことを、ぜひ、また、この場に回答を持ってきていただいても構わないので、それで皆さんが納得してもらうというのが、スジかなと思うのと、あともう 1 つ説明の中で出てこなかった工事中のことで、図書館に入ってくる道はすごく細いのですよね。あそこにコンクリートミキサー車や重機が入ってきたときにとてもじゃないがすれ違えない。また工事車両が止められたら利用者が止ることができない使えなくなってします。その点は十分検討しなければいけない重要課題かなと思います。

(協議会会長)他にありますでしょうか。これだけは言っておきたいというようなことがあれば、よろしいでしょうか。

(委員)美術館建設場所が他の場所ではなく、なぜ図書館なのかということが今一つよくわから

ないので、その点をはっきりさせて欲しいかなと思います。

(協議会会長) 他特にご質問などありませんでしょうか。

(特になし)

それでは、図書館協議会といたしましては、(仮称)中野市美術館建設基本計画(案)に対して委員の皆さんから様々なご意見をいただきましたので、真摯に受け止めていただき対応をお願いします。

(3)その他

(事務局副館長)中野市誕生20周年記念カード発行について次第資料ページ4・5により説明

(記念カード発行について、委員の皆さんからは特に質問、ご意見などはありません。)

(協議会会長)その他の委員の皆様から何か意見、要望がありましたらお願いします。

(委員)児童開架と一般開架の少しレイアウトが変わったりましたか。

(事務局副館長)レイアウトは基本的に昨年リニューアルオープンして以来何も変わっていません。児童開架の入り口のところに子供の本を紹介する本棚を一箇所設けましたが、レイアウトは変えておりませんし、予定もありません。

(委員)第1回の協議会でも意見があったのですけども、できるだけ、開架の部分を多くして欲しい。倉庫に入っちゃうと手に取れないので、やっぱりこっちの方がいいなっていう比較できない。やっぱりどれだけ開架に本を出していけるかが図書館の力量だと思いますので、限られたスペースですが、ご検討していただきたいという要望です。

(協議会会長)その他、ございますでしょうか。

すいません私今ふと頭をよぎってしまったので、ちょっとしゃべらせてもらうんですけども、今すごくネットの時代でお寺のこともネットでやるような時代っていうことで、この美術館についてもこれだけたくさんいいものがあるんであれば、現物を置くっていう方法もあると思うんですけども、もう1つ、こういった箱物ではなくて、ネット上で見れたらすごく、いいんじゃないかな。全部見れるし、そこに行かなくても、もっといいんじゃないかなと思うので、この4億幾らかけるんだったら、図書館にもちょっと費用をお願いしたらと思いました。

(荒井課長)そこの話はちょっと置いておいていただいて、その写真でＳＮＳを通じてというのは、なかなか面白い意見だなというふうには感じますので参考にさせてください。ありがとうございます。

(協議会会長)それでは、よろしいですかね。特になければ、会議はすべてこれで終了とさせていただきます。長時間にわたりありがとうございました。事務局へお返しします。

4　その他

事務局(図書館副館長):本日出席の委員報酬の支払いについて説明

(委員から特に質問等なし)

5　閉　会

事務局(図書館副館長)　午後3時50分